

働きやすさを追求するサイボウズの事例紹介とオフィス見学

選択型人事制度

その時々ライフステージに応じ、中期的な働き方として、ワークを重視するかライフを重視するか、3コースから選択し、また変更もできる。

1. ワーク重視型

開発や企画型業務等が対象の裁量労働制。

2. ワークライフバランス型

月残業時間は40時間以内。

3. ライフ重視型

残業なし、または短時間勤務。育児、介護、通学、体調不良等、理由は問わない。



ウルトラワーク

日々の変化に応じて、一時的に時間と場所を制約しない働き方。運用ルールは各部に任せる。

在宅勤務制度

月に4回まで利用可能。個別の事情によりオフィスで勤務できない人に就業機会を提供したり、個人の業務効率を向上させる等のために導入。

その他、ワークライフバランス支援や社内コミュニケーション活性化の施策

最長6年間休業可能の「育児介護休暇制度」や「育“自分”休暇制度」「クラブ活動支援制度」「仕事Bar」「副業解禁」等々の施策を導入。

以上の各種制度を導入した後の離職率は28%から4%に低下。当社人事部のミッションは、「より多くの方が、より成長し、より長く働く環境を提供する」こと。様々な人事制度を導入し、永続的な成長を目指している。

事例紹介の後、社員のパフォーマンスを高めるために「わくわく・ひらめき」をキーワードにデザインされたオフィス見学をさせていただいた。